

Sustainable Report No.096

見えない障害でも 働ける職場

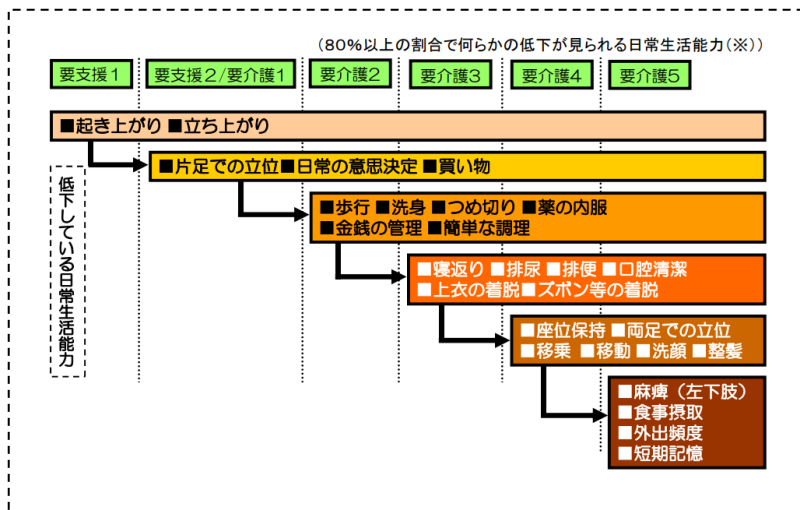


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

- **脳卒中を発症後**、同じ職場に復帰できる割合は5～6割といわれる。その中でも、リハビリ・退院後に要介護や要支援となった場合、**復帰は極めて難しい**。
- 身体をつかう仕事は本人の**心理的な不安・負担**に加えて、雇用主である**企業側も受け入れる体制に苦慮**するのではないか。
- 退職した場合、障害者センターによる仕事の斡旋を受けることが一般的だが、その**業務は極めて限定的**であらゆる障害が一緒くたに扱われてしまう。

■ 要介護状態区分別の状態像



出典：厚生労働省

■ 障害者雇用における制度や取り組み

障害者雇用促進法

障害者雇用率制度 (法定雇用率)

トライアル雇用助成金

▶ NEXT : 障がい福祉専用eラーニング

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 障害福祉サービス事業所の職員研修を行う株式会社Lean on Me（大阪府高槻市）は、インクルージョンとテクノロジーを組み合わせた造語「**インクルTech**」で**社会課題を解決**する。
- 2022年9月、障がい福祉に関わる方を対象にした障がい福祉専用eラーニング「Special Learning」に、**高次脳機能障害者の就労支援**を公開した。
- **出来ていたことが出来なくなる辛さ**から、動いた分だけストレスを感じる心の状態への理解や考慮が必要となる。

■ Special Learning



出典：左右ともに株式会社Lean on Me

■ 「見えない後遺症 高次脳機能障害の特徴と原因」

▶ NEXT：障害者に就労の選択肢を増やす

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- 障害者の就業支援は、**本人の前向きな心理状態**が常に前提となっている。
- 上司や同僚に心の状態を「**知ってもらう**」ことが理想である。
- 支援者や人事担当向けだけでなく、**一緒に働く上司や同僚に向けた支援ツール**の拡大が期待される。

■ 症状が分からない本人に対する支援者の知識

見た目では本人のしんどさが分かりにくい。
疲れやすさが分かりにくく理解まで字間がかかった。

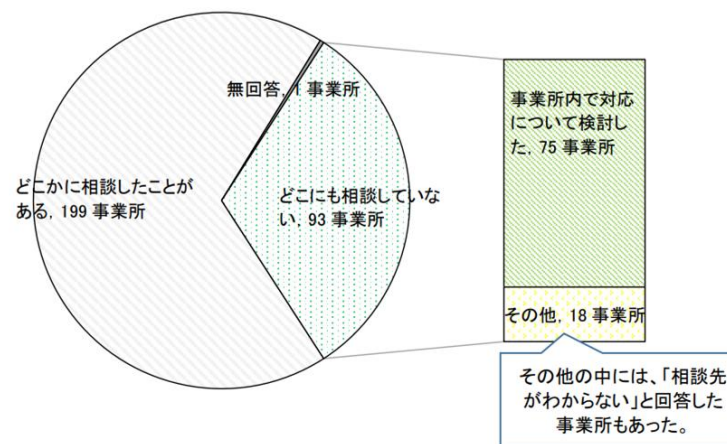
初めて接する高次脳機能障害の方だったので、
関わり方がわからなかった。

他の利用者と同じように接したら
怒られてしまったことがある

高次脳機能障害によるものなのか、
もともとの性格なのか分かりにくい

引用：大阪府障がい者自立相談支援センター

■ 支援者は対応に困った際にどこかに相談をしたか



出典：大阪府障がい者自立相談支援センター

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 厚生労働省, 「要介護認定の仕組みと手順」, 2023年4月18日参照
(<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11901000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Soumuka/0000126240.pdf>)
- 株式会社Lean on Me, 「Special Learning」公式サイト, 2023年4月18日参照 (<https://portal.special-learning.jp/>)
- 大阪府障がい者自立相談支援センター, 「「高次脳機能障がいの方の支援」に関するアンケートの結果について」, 2019年3月
(<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/12004/00000000/chousakekka.pdf>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。